



増床スペースの機能性を高めるために SDO を導入 ワークスタイルの変革を実現させる 意外な使い方とは

我々が会社として掲げるテーマと SDO はすごく合っている

事業拡大にともない、会議室スペースに会社としての色が出るスペースを新設することになり、そこに SDO を導入することにいたしました。

その新設フロアは、社員同士や他社様とのコミュニケーションスペースとしてだけではなく、場合によっては執務も行えるような場所を目指しました。たとえば、開発者は普段、机が並んでいる執務フロアで仕事をしているのですが、少し開放的な空間でいろいろな人とコミュニケーションを取りながら業務を進められるような場になるといいなと思っておりました。

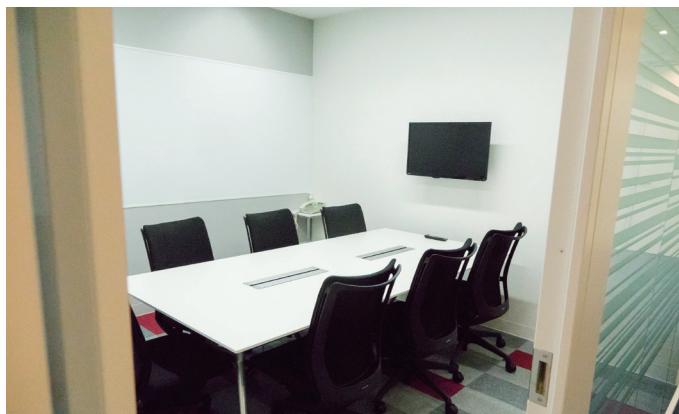
実際に効果は出ています。音楽が流れていることによって、執務スペースでは作れない柔らかな雰囲気の中で、堅くなりがちな普段のプレストや会議からは出てこないようなアイデアが生まれてきています。その場にいる人に気軽に声をかけることもできるので『これについてどう思う?』などの会話もありますね。開発者がこのスペースに来て、仕事をしていることも多いんですよ。リラックスして作業ができ、クリエイティブなものを作ることに役立っているようです。

そして実は、チューナーの操作方法とチャンネルリストを社内に広く知らせて、チャンネルを社員それぞれが自由に変えられるようにしているんです。そうすることにより、その場にいる人によって流れる音楽が変わるので、ひとつの気分転換にもなっています。自宅で音楽を聴きながらリラックスして、〈さあ、やるぞ!〉と気持ちを切り替えるときと同じような状態だと思います。

“ワークスタイルの変革”という、我々が会社として掲げているテーマと SDO は、すごく合っているなと実感しています。それぞれの社員が成果を上げるための、会社という枠を飛び出したスペース作りに一役買ってくれていますよ。



執務、打ち合わせなど多目的に使われるレセプションスペース。開放的な景色も心地よい。



ガラス張りの会議室は中が見えてしまうぶん、音漏れ防止が重要。ここでも SDO を活用。



株式会社 HDE

「テクノロジーの解放」をコンセプトに、最先端技術を用いた独自のソフトウェアやサービスの開発・提供を行う。クラウドサービス「HDE One」が好調。
<http://www.hde.co.jp>



管理部 部長 上杉篤子さんにお話をうかがった。